



消石灰系仕上材

喰
料
塗
漆

アレスシツクイ

Ales Shikkui

特許 第3094227号

施工マニュアル

関西ペイント販売株式会社

1. 適応素材

- 石膏ボード面 ・ コンクリート ・ スレート ・ モルタル ・ 塩ビクロス

2. 塗装仕様

標準塗装仕様（平滑仕上げ）

工程	塗料と処置	希釈剤	希釈率 (重量%)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	
1	素地調整	エフロ・レタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。(pH10以下、含水率8%以下とする。)					
2	下塗り	アレスシックイシーラーネオ	上水	0	0.12	刷毛 ローラー	2時間以上 7日以内
3	上塗り (1回目)	アレスシックイ	上水	5~10	0.16	刷毛 ローラー	4時間以上 7日以内
4	上塗り (2回目)	アレスシックイ	上水	5~10	0.2	刷毛 ローラー	—

3. 標準仕様（平滑仕上げ）施工要領と注意事項

<塗装用具>

刷毛 : ナイロン刷毛を推奨します。

「アレスシックイ」はアルカリ材質のため獣毛刷毛を使用すると刷毛が直に劣化します。

ローラー：腰が強く含みの良い中毛ローラーを使用してください。

参考：大塚刷毛製造株式会社製「WAKABA」（毛丈13mm）

好川産業株式会社製「ハイブリットローラー」（毛丈13mm）などを推奨いたします。

<塗装時の注意事項>

本製品は補修性が悪いので、以下の注意事項を遵守して下さい。

① 工程2：下塗り（シーラー塗装）

- 上塗りの隠蔽が悪い為、下塗りをしっかりと、均一に塗装してください。
- 必要により、下塗りの増し塗りを行って下さい。
(上塗りの隠蔽を補います。)

② 工程3：上塗り（1回目）

- E P感覚で均一に塗装してください！その際タレ易いので注意してください。
- 不均一な場合、2回目で吸い込みムラが発生する事があります。

③ 工程4：上塗り（2回目）

- 2回目は、1回目の塗膜に水分が吸い込まれるため、乾燥が早くなります。
- 塗装の際は、ローラーに十分塗料を含ませ、棒塗りで速やかに仕上げてください。
- 悪い所を直そうとしてローラーで擦り過ぎると肌が荒れたり、艶ムラが出たりしますので注意して下さい。

④ その他注意事項

- 塗継が出易いので、長柄などを使用して極力塗り継ぎが出ないようにして下さい。
- 又長柄を使用する場合は、ローラー耳が出やすく又、塗り残しが発生し易いので注意して塗装して下さい。
- 複数段の足場がある場合は、段数に合った人数で上下に分かれ連携作業を行うと綺麗に仕上がります。
- 雨天などで湿度が高い場合は、艶ムラが出易いので、施工の際は、送風機などを使用するか、良く換気を行ない出来るだけ湿度を低い状態にするよう注意して下さい。

4. 共通注意事項

1) 補修について

- 基本タッチアップが効きません！施工の際はダメージ等受けないよう工程等調整して下さい。
刷毛・ローラーなどでタッチアップを行うとその部分の艶が変わりますので注意してください。
- 軽度な汚れならメラニンスポンジを用いて水拭きするか、#400程度のサンドペーパーを用いて、軽く削り取るようにしてください。その際塗膜の主成分である消石灰も一緒に削り取られるので、艶感や肌が変わる事があります。研磨作業の際は、削り粉が目や口に入らないように、保護具を着用してください。
- 塗装で補修を行う場合は、汚れを落とし、白い状態にして、再度面で塗り直してください。
- 軽度な塗膜の削れについては、「アレスシクイ」の粉を作成し、パテ代わりに使用できます。
但しその部分の艶は替わりますので再度面で塗装してください。

<欠落部補修方法>

缶などに付着した乾燥塗膜をサンドペーパーなどで削り粉を作成します。

→

ダメージ部分周辺を霧吹き等で濡らします。

→

ダメージ部に「アレスシクイ」の粉を擦り付けます。

→

艶と肌は変わりますが段差修正は出来ます。

2) 塗料の調整

- 開缶後ハンドミキサーでよく攪拌して中身を均一な状態にしてから使用してください。又希釈した際も同様にハンドミキサーで攪拌し均一な状態に下さい。

3) 下地調整

- ボードなどの接合部分等の段差は、パテ処理等適切な処理をし、平滑にして下さい。
(仕上げパテについては、粉パテの使用は避けてエマルジョンパテを使用して下さい。)
- クロスの上に塗装する場合は、事前に浮きや剥がれ、継ぎ目のマクレなど生じてないか確認し、不適合箇所は適切な処理をし、補正してください。
- 被塗装物がヤニなどで汚れている場合は、中性洗剤などで十分汚れを除去し、十分乾燥させてから、シーラーを塗布してください。
(本品は、一般塗料に比べヤニのブリードが発生し易いので注意して下さい。
通常のヤニ止め塗装を行ってもヤニがブリードする事があります。)
- モルタル・コンクリートなどは、エフロ・レイダンス・ゴミ・汚れなどはワイヤーブラシ、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、清潔な面とすると共に、水分8%以下、pH10以下になるまで十分乾燥させて下さい。

4) 養生等

- 施工面以外に材料が付着しないように養生テープ、ビニールシート等で十分に養生してください。
- 「アレスシクイ」塗装後早い時期（乾燥前）に養生を除去してください。
時間が経過してしまった場合は、カッター等を用いてください。
- 出来れば捨てテープ張り等行って塗装完了毎に剥していただく事も可能です。

5) その他注意事項

- アルミとの接触を避けて下さい。(アルミが腐食します。)
- 低温(5℃以下)及び高湿度(85%以上)の場合は施工を避けて下さい。
- 密閉環境下の塗装は避け、養生中も十分な換気を取ってください。
(乾燥が遅れて、艶ムラの原因となります。)
- 塗り重ね時間は、温度23℃・湿度50%の場合での目安です。環境条件により乾燥時間は異なりますので注意してください。
- 他の塗料との混合は絶対に避けて下さい。同様に塗装用具の共有も出来ません。
強アルカリのため、ブツの発生やゲル化の原因となります。

- ・ 夜間など気温の低下によって結露し、塗面にシミが付いたり、塗膜をタレさせたり、艶ムラが発生したりする事が有りますので、冬期や雨天の塗装には特に注意してください。
- ・ 現場での材料の保管は、室内又は屋外ではシート掛けを行ない、直射日光・凍結等を防止し、高温（40℃以上）低温（-5℃以下）での保管は避けて下さい。
- ・ 取り扱い中は、出来るだけ皮膚に付着しないように注意し、必要に応じて保護メガネ・保護マスク・手袋等の保護具を着用してください。
目に入った場合は大量の水で洗浄した後、医師の診断が必要です。
皮膚に付着した場合は大量の水で流した後、中性洗剤で洗浄してください。
- ・ 本製品が付着したウエスなどは、必ず水に浸して処理してください。
- ・ その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項詳細は、MSDS（化学物質等安全データシート）を参照して下さい。

製品改良等のため内容等予告なしに変更することもございますのでご了承ください。